

令和2年度 指定管理者運営評価シート

所管課	文化振興課
-----	-------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市甲東ホール
所在地	西宮市甲東園3丁目2番29号 アプリ甲東4階
施設概要	甲東ホール(330人収容)、会議室(40人収容)、調理室(15人収容)、展示室(120㎡)
施設の設置目的	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	株式会社双葉化学商会	指定期間	開始日	平成 30 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市産所町14番6号		終了日	令和 5 年 3 月 31 日
選定方法		公募	評価対象年	指定期間 5 年のうち 2 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>常時1名以上の職員で、ホールの受付、収納、管理、利用促進業務等の管理運営業務を実施した。設備管理、舞台操作などを外部に委託し、設備機器等の法令点検や定期点検等を実施した。アプリ甲東共用部の壁紙修繕にあわせて、展示室の壁紙修繕を実施した。</p>
②施設の事業・運営関係	<p>西宮市甲東ホールは、貸館としてホールと会議室1室、調理室1室、展示室を設置している。令和元年度に甲東ホールは271日開館し、利用日数は246日であった。会議室は286日開館し、利用日数は247日、調理室は284日開館し、利用日数は87日であった。展示室は283日開館し、利用日数は88日であった。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月3日から3月31日まで休館)ホールと展示室は6ヶ月前の月の1日から、会議室と調理室は3ヶ月前の月の1日から申込みを受け付けており、公平な利用を確保するために各月申込み初日に抽選を実施している。また、指定管理者の自主事業として、令和元年度は、フルートアンサンブルSAKURAジェンヌコンサート等計8件を実施した。</p> <p>労働実態調査の結果： 事業計画書に基づき、適切に実施されていることを確認した。</p> <p>調査結果後の指示事項： 特になし。</p>
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案： 自主事業では、これまでの経験とネットワークをもとに、近隣に複数の教育施設があるという立地や音響の良さというホールの特性、ニーズを把握したうえで、事業展開を行う。</p> <p>取組結果： アプリ甲東が地域のファミリー層の集まる場となっていることに着目し、子供とともに楽しめる企画を実施した。また、ハンドメイド作品のワークショップを複数集めた「甲東ハンドメイドパーティー」は年間複数回実施される人気事業として稼働率の低迷していた展示室の有効活用策となっただけでなく、今まで来場したことのなかった地域の人たちにホールに足を運ばせるきっかけともなった。ケルト音楽コンサートなどを通じて、ホールの響きの良さを来館者に印象付けた。</p> <p>今後の改善点： 利用率の低い展示室について新たな利用者を掘り起こすような方策を引き続き検討するとともに、アンケート等によるニーズの把握に努めることで、施設利用の活性化に注力するよう努めること。施設としての情報発信や事業の広報により注力し、施設ホームページの更新頻度向上にも努めること。</p>

施設利用状況(量)を示す指標名		単位	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(計画)		
①	ホール稼働率	%	57.5	62.5	70.0		
②	展示室稼働率	%	20.0	24.5	70.0		
③	会議室稼働率	%	55.7	56.2	70.0		
④	ホール利用件数	件	469	507	422		
⑤	展示室利用件数	件	178	208	173		

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	施設の使用申請手続きの際の面談で使用者の意見・要望を聴取することに加え、基本協定に基づき、年度終了後に指定管理者から施設の利用状況(利用率、目的別・使用団体別利用状況)等を含む事業報告書の提出を受けている。 年間を通じて市と緊密な連携を取り、利用者から施設利用に対する意見・苦情等が寄せられた場合に、随時報告を受け対応している。また、利用者からのニーズをできる限りの確に捉えるため、アンケートによる利用満足度の調査、要望の把握に努めている。
②利用者アンケート等の結果	アンケートでは施設使用やホールについての満足度が比較的高い。開館以降、経年劣化している備品関係の改善要望が出てきている。
③結果からの改善点など	修繕や機材については、市と随時調整を行い、可能な範囲で改善に努めている。令和元年度は、利用者の満足度向上のため、更新した音響設備のデモンストレーションを兼ねたコンサートを実施し、ホールのPRに努めた。

5. 指定管理者の安定性及び継続性の評価

①評価結果	概ね指定管理料の範囲内で業務を実施した。 また、令和元年度決算報告書を確認し、事業者の経営状況に特段大きな問題は見られないことを確認した。
②評価結果を受けての指示事項	業務に係る経費について、引き続き適切な執行に努めるよう指示している。

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)			
指定管理料	15,875	16,215	16,245			
うち光熱水費						
うち修繕料	(415)	(436)	440			
補足説明	修繕費の予算超過分(17,631円)については、指定管理者が負担した。 光熱水費については、市が直接負担している。					

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)			
使用料	8,883	8,293	10,385			
光熱水費等使用者負担金収入	23	23	22			
その他の収入	45	50	53			
合計	8,951	8,366	10,460			
補足説明	「その他の収入」は、主に行政財産目的外使用料(自動販売機設置手数料)である。 千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。					

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	仕様書等に記された業務内容については適正に実施されている。 施設の維持管理に関しては、より良いサービスの提供を念頭において適切かつ迅速に対応している。 音響の良さを生かした鑑賞事業やホールホワイエに隣接している展示室を活用した事業など、ホールの特性および把握したニーズを的確に取り入れた自主事業や、施設の利用を促す自主事業に積極的に取り組んでいる。
②指摘事項	自主事業については引き続き既存事業の拡充や、ホールの空き区分の多い時間帯、展示室、調理室を利用した事業の提案、新たな利用者の開拓に努めること。 ホールの練習利用による直前割引制度については、引き続き周知及び活用に努めること。 平素の業務の中で気づいた施設の維持管理にかかる課題事項についての改善、提案に努めること。